



## 2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年1月31日

上場会社名 ヨシコン株式会社 上場取引所 東  
コード番号 5280 URL <https://www.yoshicon.co.jp/>  
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田尚洋  
問合せ先責任者(役職名) 経営管理部長 (氏名) 鵜飼誠司 (TEL) 054-205-6363  
四半期報告書提出予定日 2023年2月13日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	9,461	△23.8	641	△64.3	806	△59.4	514	△60.3
2022年3月期第3四半期	12,416	39.9	1,796	505.4	1,985	126.3	1,296	121.0

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 603百万円(△59.1%) 2022年3月期第3四半期 1,477百万円(140.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	71.82	—
2022年3月期第3四半期	175.89	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	34,061	22,891	66.8
2022年3月期	32,216	22,703	70.0

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 22,744百万円 2022年3月期 22,558百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	48.50	48.50
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	4.6	2,700	13.8	2,750	5.0	1,700	3.4	236.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	8,030,248株	2022年3月期	8,030,248株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	895,193株	2022年3月期	832,493株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	7,168,865株	2022年3月期3Q	7,372,453株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が和らぎ、経済活動の正常化に向けて、景気の緩やかな持ち直しの動きが見られましたが、為替相場における円安進行やエネルギー価格や原材料価格の高騰などにより、先行きが不透明な状況で推移いたしました。また海外経済におきましても、ロシア・ウクライナ情勢の長期化を背景とした世界的な物価上昇、欧米各国の金融引き締めによる金利上昇及び中国でのコロナ感染者の急増による景気への影響など、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する不動産業界でも厳しい状況で推移いたしました。このような環境下にあつて当社グループの不動産事業分野では、新規分譲マンションの販売及び企業誘致や宅地造成などの積極的な提案営業を継続してまいりました。また、不動産証券化事業への取組み強化として、上場不動産投資法人に向けての収益不動産の開発・獲得・供給を積極的に行つてまいりました。

建設土木業界に属するマテリアル事業分野では、工場設備を有しないファブレスの考えを基礎とし、製品企画などを強みとする営業活動を実施してまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は94億61百万円（前年同四半期比23.8%減）、営業利益は6億41百万円（前年同四半期比64.3%減）、経常利益は8億6百万円（前年同四半期比59.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億14百万円（前年同四半期比60.3%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①レジデンス事業

レジデンス事業におきましては、新規一棟売り分譲マンションの引渡しが行われたことにより、大幅な増収増益となりました。この結果、売上高は37億38百万円（前年同四半期比644.0%増）、セグメント利益(営業利益)は7億71百万円（前年同四半期比-％）となりました。

#### ②不動産開発事業

不動産開発事業におきましては、分譲宅地や商工業施設用地などの引渡しが行われましたが、不動産投資法人への上場時引渡しがあつた前年と比べ、大幅な減収減益となりました。この結果、売上高は14億31百万円（前年同四半期比79.3%減）、セグメント利益(営業利益)は1億46百万円（前年同四半期比91.6%減）となりました。

#### ③賃貸・管理等事業

賃貸・管理等事業におきましては、資産運用会社にて不動産投資法人の上場時売上等があつた前年と比べ、減収減益となりました。この結果、売上高は23億40百万円（前年同四半期比18.2%減）、セグメント利益(営業利益)は1億70百万円（前年同四半期比58.2%減）となりました。

#### ④マテリアル事業

マテリアル事業におきましては、製品企画などを強みとする営業活動を実施しましたが、減収減益となりました。この結果、売上高は8億42百万円（前年同四半期比26.1%減）、セグメント利益(営業利益)は4百万円（前年同四半期比17.6%減）となりました。

#### ⑤その他

その他事業におきましては、缶飲料製造の売上高が増加したものの、燃料費などの費用増をまかなえず、増収減益となりました。この結果、売上高は11億8百万円（前年同四半期比10.3%増）、セグメント損失(営業損失)は2百万円（前年同四半期は31百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は340億61百万円（前連結会計年度比5.7%増）となりました。

流動資産は、現金及び預金などが減少したものの、販売用不動産などが増加したことにより、269億99百万円（前連結会計年度比7.8%増）となりました。固定資産は、投資有価証券などが増加したものの、繰延税金資産などが減少したことにより、70億62百万円（前連結会計年度比1.6%減）となりました。

(負債)

流動負債は、短期借入金などが増加したことにより、80億13百万円（前連結会計年度比32.4%増）となりました。固定負債は、長期借入金の減少などにより、31億56百万円（前連結会計年度比8.8%減）となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は228億91百万円（前連結会計年度比0.8%増）となりました。純資産の増加の主な要因は、利益剰余金の増加などによるものであります。

(自己資本比率)

当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は66.8%（前連結会計年度比3.2ポイント減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で、2022年4月28日公表の業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,254,351	1,698,535
受取手形、売掛金及び契約資産	893,479	1,205,514
商品及び製品	21,231	18,665
原材料及び貯蔵品	13,242	13,226
販売用不動産	19,621,737	23,192,368
未成工事支出金	11,296	5,050
その他	225,607	870,168
貸倒引当金	△3,141	△4,393
流動資産合計	25,037,803	26,999,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	469,417	436,023
土地	1,655,252	1,616,038
その他（純額）	96,224	60,460
有形固定資産合計	2,220,893	2,112,522
無形固定資産	54,590	40,407
投資その他の資産		
投資有価証券	4,447,870	4,523,431
繰延税金資産	144,332	58,796
その他	384,929	401,939
貸倒引当金	△73,751	△74,417
投資その他の資産合計	4,903,380	4,909,750
固定資産合計	7,178,864	7,062,680
資産合計	32,216,668	34,061,816
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,032,699	1,012,546
短期借入金	2,000,000	5,085,000
1年内返済予定の長期借入金	274,135	457,397
未払法人税等	402,560	29,515
賞与引当金	45,705	22,672
役員賞与引当金	180,000	—
その他	2,118,778	1,406,347
流動負債合計	6,053,879	8,013,478
固定負債		
長期借入金	2,843,483	2,455,008
その他	616,220	701,551
固定負債合計	3,459,703	3,156,559
負債合計	9,513,583	11,170,038

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,587,284	3,587,284
利益剰余金	19,326,629	19,497,257
自己株式	△693,886	△759,809
株主資本合計	22,320,027	22,424,732
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	238,254	319,689
その他の包括利益累計額合計	238,254	319,689
非支配株主持分	144,803	147,357
純資産合計	22,703,085	22,891,778
負債純資産合計	32,216,668	34,061,816

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	12,416,785	9,461,142
売上原価	9,324,283	7,587,815
売上総利益	3,092,502	1,873,327
販売費及び一般管理費	1,296,091	1,231,932
営業利益	1,796,411	641,395
営業外収益		
受取利息	103	96
受取配当金	12,363	69,264
仕入割引	4,281	5,825
匿名組合投資利益	147,411	85,706
受取手数料	2,655	2,311
助成金収入	27,694	14,877
補助金収入	6,054	6,367
その他	37,169	27,568
営業外収益合計	237,733	212,016
営業外費用		
支払利息	46,453	28,030
休止固定資産減価償却費	—	16,866
その他	1,765	1,748
営業外費用合計	48,219	46,644
経常利益	1,985,924	806,766
特別利益		
固定資産売却益	7,592	5,786
特別利益合計	7,592	5,786
特別損失		
固定資産除却損	5,201	3,118
特別損失合計	5,201	3,118
税金等調整前四半期純利益	1,988,316	809,434
法人税、住民税及び事業税	593,187	92,780
法人税等調整額	46,881	194,382
法人税等合計	640,069	287,162
四半期純利益	1,348,246	522,272
非支配株主に帰属する四半期純利益	51,529	7,413
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,296,716	514,858

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	1,348,246	522,272
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	129,220	81,434
その他の包括利益合計	129,220	81,434
四半期包括利益	1,477,467	603,707
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,425,937	596,293
非支配株主に係る四半期包括利益	51,529	7,413

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

当社は、2022年4月28日開催の取締役会決議に基づき、自己株式62,700株の取得を行っており、当第3四半期連結累計期間において、自己株式が65,922千円増加いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間末において、自己株式は759,809千円となっております。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	レジデンス 事業	不動産開発 事業	賃貸・管理等 事業	マテリアル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	502,463	6,908,463	2,860,937	1,139,711	11,411,576	1,005,209	12,416,785
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	4,500	149,226	153,726	3,318	157,045
計	502,463	6,908,463	2,865,437	1,288,938	11,565,303	1,008,527	12,573,831
セグメント利益	8,100	1,752,008	407,497	6,015	2,173,622	31,624	2,205,247

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料製造事業、衣料品事業及び保険代理店事業などを含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,173,622
「その他」の区分の利益	31,624
セグメント間取引消去	△4,601
全社費用(注)	△404,235
四半期連結損益計算書の営業利益	1,796,411

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	レジデンス 事業	不動産開発 事業	賃貸・管理等 事業	マテリアル 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,738,148	1,431,497	2,340,446	842,111	8,352,204	1,108,938	9,461,142
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	289,885	643,794	933,679	3,617	937,297
計	3,738,148	1,431,497	2,630,331	1,485,906	9,285,884	1,112,555	10,398,439
セグメント利益又は損失 (△)	771,821	146,333	170,434	4,956	1,093,546	△2,419	1,091,127

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料製造事業、衣料品事業及び保険代理店事業などを含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	1,093,546
「その他」の区分の損失(△)	△2,419
セグメント間取引消去	△69,572
全社費用(注)	△380,159
四半期連結損益計算書の営業利益	641,395

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。